

2007-8月以降の変更事項について

◎ 体型形質の一部の名称変更及び評価中止

2007年4月から（社）日本ホルスタイン登録協会による審査標準が改正されました。このことに伴い、「体積」の評価を2007-8月評価以降中止いたします。また、「外貌」を「体貌と骨格」に、「乳用牛の特質」を「乳用強健性」にそれぞれ名称変更することとします。

2007-5月以前	2007-8月以降
外貌	→ <u>体貌と骨格</u>
肢蹄	→ 肢蹄
乳用牛の特質	→ <u>乳用強健性</u>
体積	→ <u>(評価中止)</u>
乳器	→ 乳器
決定得点	→ 決定得点

◎ 遺伝的能力評価の実施・公表スケジュールの変更

2006年6月のインターブル年次会議を通じ、2007年8月以降の国際評価公表回数が年4回から年3回体制に移行し、公表月は1月、4月、8月となることが決定いたしました。

このことを受け、日本における遺伝的能力評価の実施・公表について検討した結果、関係者等の要望も踏まえ、当面下表スケジュールにより行うこととなりました。

なお、これまでは評価の呼称を「2007-8月」のように評価実施年と公表月によって表してきましたが、今後、国内評価及び国際評価の公表月が異なることから、評価の呼称を下表のとおり改めることといたしました。

評価の呼称	国内評価公表日※	国際評価公表日※※
2007-Ⅳ	2007年11月27日（火）	2008年 1月15日（火）
2008-Ⅰ	2008年 2月26日（火）	2008年 4月 1日（火）
2008-Ⅱ	2008年 8月 5日（火）	2008年 8月19日（火）

※国内評価公表日：11月及び2月は当該月の最終火曜日、8月は第1火曜日。

※※国際評価公表日：1月は11日以降の最初の火曜日、4月は第1火曜日、8月は第3火曜日。

◎ 乳用種雄牛評価成績（赤本）の発行及びCD-ROMの頒布等

遺伝的能力評価の実施・公表スケジュールの変更に伴い、乳用種雄牛評価成績（赤本）及び CD-ROM の内容と発行（頒布）時期を以下のように変更します。

- ・乳用種雄牛評価成績（赤本）は評価・公表にあわせて年 3 回発行することとし、2007-IV については国内の精液供給可能種雄牛を中心とした簡易版で、2008 年 1 月 15 日の国際評価公表を終えた後速やかに準備を整え発行します。また、2008-I 及び 2008-II については国内の精液供給可能種雄牛に加え、それ以外の最近の種雄牛を掲載する充実版で、各々国際評価公表を終えた後速やかに準備を整え発行します。なお、掲載内容の詳細については、赤本「乳用種雄牛評価成績の公表等について」の「8 公表(発表)媒体」をご覧ください。
- ・CD-ROM については、国内評価と国際評価を収録したものを、乳用種雄牛評価成績の発行に合わせて年 3 回、国際評価公表日以降申し込みを受け付け頒布します。
- ・(独) 家畜改良センターのホームページを通じて試験運用を行っている乳用牛評価検索システムについては、国内評価及び国際評価公表の都度、各々を内容としたものを公表日以降速やかに準備を整え掲載します。

◎ 新たな評価形質の追加等

「後乳頭の配置」及び「尻の幅（坐骨幅由来）」については、2003 年 10 月以降（社）日本ホルスタイン登録協会により情報収集されてまいりましたが、一定量のデータが蓄積されたことから、これらの遺伝的能力評価を開始いたします。これらは、インターブルにおいても国際評価が行われていることから、2007 年 9 月に予定されているテストランに参加し、国際評価上問題のないことが確認されてから、通常の評価を開始することとします。したがって、早ければ 2007-IV からの評価開始となります。

なお、現在評価を行っている「尻の幅（寛幅由来）」については、「尻の幅（坐骨幅由来）」の評価開始に伴い中止いたします。これにより、「尻の幅（坐骨幅由来）」の審査記録のない雌牛については、当該形質の遺伝的能力評価値は計算できなくなります。また、娘牛の「尻の幅（坐骨幅由来）」の記録が一定以上無い種雄牛についても遺伝的能力評価値が公表されません（現在供用されている検定済種雄牛については、坐骨幅由来のデータをもって全頭公表できる見込みです）。